

# さいわい花だより



「平成」から「令和」になって一年が過ぎ、世の中はまさかこんなに変わるとは思ってもいませんでした。「新型コロナウイルス」という感染力の非常に高い病原体の出現により、私たちの日常がこれほど変わることにも心も体も追いついていないのが現状ではないでしょうか。

とにかく今は「命」を守るということに集中し、できる予防策を十分にとっていくことが必要かと思えます。

一方では、各地で予定していたいろいろな行事がなくなっており、またセンターでも同じように様々なイベントが中止になっています。「新しい生活スタイル」の模索同様、アイデアを出し合いながら少しでも豊かな日常の演出ができればと思っています。

さいわい福祉センター 所長 飯島 一憲

発行：東久留米市立  
さいわい福祉センター  
責任者：飯島 一憲

〒203-0052 東京都東久留米市幸町 3-9-28  
TEL 042-477-2711  
FAX 042-477-2750  
URL <http://www.saiwai-higashikurume.com/>

# 新職員紹介

今年度も新たな職員がセンターにやってきました。  
皆様どうぞよろしくお願ひいたします！



はじめまして。昨年8月よりお世話になっています。相良<sup>さがる</sup>と申します。  
主な前職は他の社会福祉法人にて勤務していました。趣味はいろんなことを自分でやってみる事です。器用ではないのですがDIYなども失敗を繰り返しながら上手に出来るように向き合う時間が好きです。

今までは入所施設でしたので、さいわい福祉センターのようなところは初めてです。少しずつ勉強しながら取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



みなさん、初めまして。1月から入職しました。杉本尊子と申します。名前が難しく中々読めないと思ひますが「たかこ」と読みます。

今、ハマっている事は、プレイボードです。中学3年生になる娘に教えてもらっています。初めた頃は何度も転んでアザだらけでしたが、今はターンが出来るようになりました。

元気と明るさがとりえです。これからも、みなさんと楽しく活動していきたく思ひます。よろしくお願ひします。





東村山生活実習所から異動して参りました、<sup>しょうしだ</sup>障子田友美です。  
好きなことは読書です。今は時代物にはまっています。  
新型コロナウイルスの影響で、なかなか皆さんにお会いすることが出来ませんが、焦らず一つ一つの仕事を覚えていこうと思っています。覚えづらい名前ですが、見かけたら気軽に声をかけてくださいね。

皆様はじめまして。板橋区にあります小茂根福祉園という施設より異動してまいりました奥脇康平と申します。

趣味は、音楽を聞くこと、ドラムを演奏すること、体を動かすことです。ライブが好きで色々なライブへ行きます。あとはラーメンとお酒が大好きです。

さいわい福祉センターは事業も多く、様々な方々が関わっていると存じております。未熟ではありますが、早く事業のことを学び皆様の役に立てたらと思います。今後ともよろしく願い致します。



皆様はじめまして。4月からさいわい福祉センターで働かせていただいております、山下絵里奈と申します。趣味はカラオケで歌うこと、テニスをする事です。

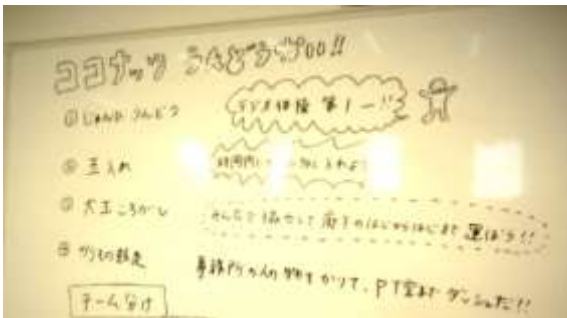
福祉には傾聴ボランティアを通じて興味を持ちました。さいわい福祉センターには様々な事業があるので、一つ一つ丁寧に行いつつ、ボランティアではできなかったことにも挑戦しようと思っています。1日も早く職員として貢献できるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。



# 運動会をしました！



生活介護事業（ココナッツ）で  
運動会を行いました～！



車椅子の皆さんが楽しめるように  
工夫を凝らし、プログラムを組みました。

まずはラジオ体操からはじまり、玉入れでは2チームに分かれ、ポッチャ用のレーン（ランプ）を使ってカゴに向かってボールを転がし、カゴに入ったボールの数を競います。

なかなか思った方向にボールが転がらず…  
職員もわーわーカーカー言いながらやりました★

大玉転がしは、どのご家庭にも眠っているであろう健康グッズ、バランスボールを転がし、長い廊下をぐるっと一周！タイムを計って競争しました！（もちろん利用者さんの安全に気を使いながら）

「他にも綱引きをやりたいけど、綱がないし…」  
「そうだ！紙テープで引っ張ればいいのでは！？」  
「指を切らないように軍手をすればいいのでは？」  
と試行錯誤をしながら次の運動会を企画中です。



## 新型コロナウイルス

# 感染対策の取り組み



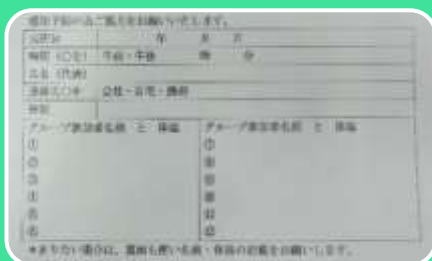
玄関にてアルコール手指消毒をお願い致します。  
手のひら、手の甲、指にすりこんでください。  
また指先も手のひらでこするとより効果的です。



主に手が触れる箇所を中心に、  
定期的に館内をアルコール消毒しています。



利用者の方への食事介助は  
フェイスシールドを着用しています



来館された方には、  
入り口で検温と来館者カードへのご記入を  
お願いしております。

ご不便をおかけしますが

ご協力お願いいたします



# ほっと一息



最近夏の日差しを感じる日々が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？外出も良いですが、お家でゆっくり過ごすのも良いですね。私は普段、読書をして過ごしています。今回は私の一番好きな小説家・伊坂幸太郎さんの作品からオススメの小説を3冊紹介したいと思います。

## アヒルと鴨のコインロッカー

本屋から広辞苑を強盗するという物騒な始まりですが、物語後半であっと驚く展開が繰り広げられます。ラストはとても切ない気持ちになりますが、伏線の回収と予想できない展開がオススメです。読後はボブ・ディランの「風にふかれて」が聴きたくなります。

## 重力ピエロ

「春が二階から落ちてきた」という印象的な一文から物語が始まり、同じ一文で物語が終わるという演出が鮮やかです。物語のテーマは重いですが、「家族とは」「血の繋がりとは」を考えさせられる深い作品です。物語終盤、病室でのシーンで主人公の兄弟たちへお父さんが言ったセリフは読んでいて目頭が熱くなりました。

## ゴールデンスランバー

首相暗殺犯に仕立て上げられた男の逃亡劇で、伊坂さんの作品の中で伏線回収が最大の作品です。物語が進むにつれて散りばめられていた伏線が回収されていく展開がとても面白いのと、絶望的な状況の中で主人公が「信頼」を武器に戦う姿が印象的です。物語の最後、“ある伏線”が回収されるのですが、読んだときに心の中で拍手を送りました。

伊坂幸太郎さんの作品は映画化されている作品も多く、今回オススメした3冊はすべて映画化がされています。本が苦手な方は映画で鑑賞するのも良いですね。もし今回の紹介に興味を持たれたら、お家時間に是非読んでみてください！

(記：長島)

# 募集しています！

さいわい福祉センターでは、  
就労移行支援事業を利用したいという方を募集しています。

就労移行支援事業では、はたらくことへのサポートを行っています。

「就職へのステップアップを図りたい！」

「企業での就職を目指したいが何をしたら良いかわからない…」

「働く力が今どれだけあるのか知りたい」

などのお悩みをお持ちの方へ、作業訓練や実習等の内容を提供しています。

気になった方はお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

☎ : 042-477-2711 平日 9:00~17:00

さいわい福祉センター 就労移行支援事業担当まで

社会福祉法人恩賜財団東京都同僚援護会  
東久留米市立さいわい福祉センター  
就労移行支援事業

就労で悩んでいませんか？

就職に必要なことを  
私たちと一緒に考えませんか？

就職したいけど  
何をすれば  
いいかわからない…

就職に必要な力を  
身につけたい…

障害があっても  
就職できるのかな…

対象の方

- 東久留米市在住の方
- 18歳以上65歳未満の方
- 知的障害もしくは身体障害の方で一般就労を目指す方

一人ひとりに合わせた作業と学習によって  
スキルアップを目指します！！

3つの特徴

<b>自己覚知</b> 今の自分が就職するために必要なことや強み、弱みを知る機会を設けます！	<b>キャリア学習</b> 「生活学習」と「職業学習」2つの学習でアプローチします！	<b>豊富な作業</b> 一人一人に合わせた作業訓練によって就職に必要なスキルを身につけます！
---	---	--

3つの特徴を軸に  
就職に向けてサポートします

ピッコロの作業一覧

作業訓練	事務補助作業、清掃、外注作業
キャリア学習	職業学習、生活学習
ワークトレーニング	ピッキング、物品請求書作成 ラベル作成、メール便仕分け、パソコン入力
就労活動	企業見学・実習、面接練習、面接会参加
その他	グループホーム見学、宿泊訓練

社会福祉法人恩賜財団東京都同僚援護会  
東久留米市立さいわい福祉センター  
☎ 042-477-2711



# アカバツメクサ

## 花言葉：約束



### 編集後記

センターの花壇にも色とりどりの花が咲く季節となりました。パンジーやビオラ、マリーゴールド、上の写真にありますアカバツメクサも花壇を彩っています。

今年に入ってから連日不安を感じるような報道が流れ、やりたいことが出来ない日々が続いています。しかし、窮屈な生活のなかでも新たな趣味や体験をされた方も多いのではないのでしょうか。私が所属している生活介護グループでも、人混みを避けて活動することで制限が出来てしまいました。しかし、その状況を逆手にとって、前記事にもあるように運動会を行ったり、端午の節句で柏餅を手作りしたり、時間のある今だからこそできる活動を行っています。外出活動が中止になるなど、ご利用者には窮屈な思いをさせてしまい申し訳なさを感じていますが、普段と異なる活動を楽しんでもらえたら良いな、と日々感じています。

皆様の生活はどのように変わりましたでしょうか。制限された生活の中でも、新しい趣味や楽しみ、過ごし方を見つけられた人も多いのではないのでしょうか。東京、日本全国で各々が感染防止に努めるという「約束」を引き続き守らなくてはなりません。様々な宣言や要請が解除されたとしても、職員一同、常に意識をもって今後も取り組んでまいります。この困難を一緒に乗り越えていきましょう。

(記：楡木)